

2023年12月20日

## QB 第二号ファンド 「株式会社 Arktus Therapeutics」への出資について

NCB ベンチャーキャピタル（代表取締役 井上 一成）は、QB キャピタル合同会社（代表社員 坂本 剛、本藤 孝）と共同で運営する、「QB 第二号ファンド（以下「本ファンド」）において、「株式会社 Arktus Therapeutics」（代表取締役 大岩 智大、以下「当社」）に出資しましたので、お知らせします。

NCB ベンチャーキャピタルは、地域金融機関として、本ファンドを通じて積極的な創業支援を行い、地域産業の発展や雇用の創出に貢献してまいります。

記

### 1. 対象企業の概要

会 社 名	株式会社 Arktus Therapeutics
本 社 住 所	京都市左京区吉田本町 36 番地 1 国際科学イノベーション棟西館 1 階 104 号室
代 表 者	代表取締役 大岩 智大
設 立	2023 年 7 月
事 業 内 容	再生医療製品等の研究および開発

### 2. 対象企業の特長

- 当社は、QB キャピタルの QB シードインキュベーションプログラム（会社設立前の段階での資金支援プログラム）による支援を経て設立された、他家 iPS 細胞<sup>\*1</sup>由来で強度の高い軟骨組織を作製するスタートアップ企業です。
- また、当社は、京都大学 iPS 細胞研究所の池谷真准教授の「iPS 細胞から高品質な間葉系幹細胞<sup>\*2</sup>を作製する技術」と、佐賀大学医学部の中山功一教授の「間葉系幹細胞から強度が高く大きな軟骨組織を作製する技術」を基盤として、変形性膝関節症を対象とした再生医療としての実用化を目指しており、今後の更なる成長が期待されます。

※1 他家、iPS 細胞とは、患者以外（他人）の細胞をもとに作成された、さまざまな組織や臓器の細胞に分化する能力を持った、多能性幹細胞。

※2 間葉系幹細胞とは、骨髄、脂肪組織、胎盤組織など種々の組織から取得できる細胞で、骨や軟骨、血管、心筋細胞などに分化できるといわれている。

以 上

本件に関するお問い合わせ先  
NCB ベンチャーキャピタル TEL092-731-8010  
担当 仲尾・原田

『QB 第二号ファンドについて』

1. 本ファンドの概要

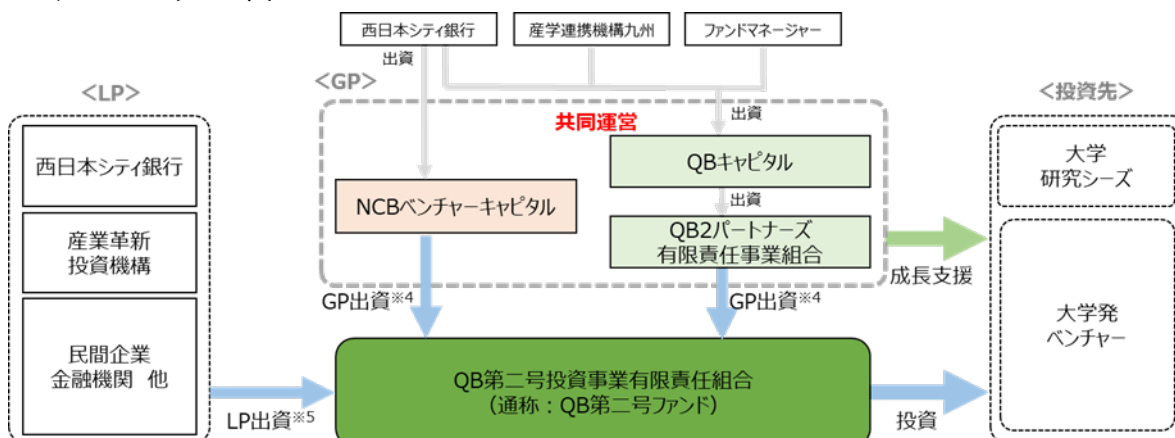
名 称	QB 第二号投資事業有限責任組合（通称：QB 第二号ファンド）
ファンド総額	約 70 億円
無限責任組員（GP <sup>※2</sup> ）	QB2 パートナーズ有限責任事業組合 <sup>※1</sup> （QB キャピタル） 株式会社 NCB ベンチャーキャピタル
有限責任組員（LP <sup>※3</sup> ）	株式会社西日本シティ銀行、株式会社産業革新投資機構 民間企業、金融機関 他
設 立 日	2021 年 4 月 30 日（存続期間 10 年）

※1 QB2 パートナーズ有限責任事業組合：本ファンドを運営するために QB キャピタル等が設立した組合

※2 GP（General Partner）：ファンドの運用主体となる無限責任組員

※3 LP（Limited Partner）：ファンドの出資者となる有限責任組員

2. ファンドスキーム図



※4 GP 出資：ファンドの運用主体となる無限責任組員が約束する出資金額

※5 LP 出資：ファンドの出資者となる有限責任組員が約束する出資金額

3. 運営会社の概要

商 号	株式会社 NCB ベンチャーキャピタル
所 在 地	福岡県福岡市中央区天神 2 丁目 5 番 28 号 天神西通りセンタービル 8 階
事 業 内 容	投資事業有限責任組合財産の運用および管理
株 主	株式会社西日本シティ銀行（100%）
代 表 者	井上 一成

商 号	QB キャピタル合同会社
所 在 地	福岡市早良区百道浜 2-1-22 SRP センタービル
事 業 内 容	投資事業有限責任組合財産の運用および管理
出 資 者	株式会社産学連携機構九州 株式会社西日本シティ銀行 他
代 表 社 員	坂本 剛、本藤 孝

以 上